

2015年2月25日

【アピタルがん夜間学校】
もっと知ってほしいがんと痛みのこと
アンケート結果及びご寄付の報告

2015年2月18日(水)秋葉原UDXシアターにて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。121名の方にお申し込み頂き、当日は82名の方が参加され、うち、61名の方からご意見を頂きました。(回収率74.4%)。

頂きましたコメントは、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原則全て記載し紹介しています。

当セミナーにて参加者の方々から頂きましたご寄付は8,500円です。頂きましたご寄付はCNJのがん啓発活動などを運営する資金に充てさせて頂きます。皆様のサポートに心から感謝いたします。ありがとうございます。

(1) 今回のセミナーはどのような媒体でお知りになりましたか？

① CNJのホームページ(ブログ)などのイベント告知	37.7%
② キャンサーチャンネルのイベント告知	14.8%
③ UDXオープンカレッジのイベント告知	6.6%
④ 朝日新聞・アピタルの告知	3.3%
⑤ Twitter facebook等のSNS(RT,シェアを含む)	1.6%
⑥ CNJ以外の患者会・支援団体からのお知らせ	1.6%
⑦ 友人・知人に誘われて	18.0%
⑧ 新聞・雑誌などマスメディアの告知	0.0%
⑨ 病院でのポスター告知など	9.8%
⑩ その他(会社からなど)	6.6%
無記入	0.0%

(2) あなたのお立場に○印をお願いします。

① 患者(治療開始前)	0.0%
(通院治療中)	1.6%
(治療後フォロー中5年以内)	14.8%
(治療後5年以上経過)	1.6%
(無記入)	3.3%
② 患者の家族・友人	14.8%

③ 医療関係者（医師）	0.0%
（看護師）	1.6%
（薬剤師）	6.6%
（その他）	3.3%
（無記入）	1.6%
④ 製薬・医療機器・メディア関係	34.4%
⑤ その他（生命保険会社・医療団体・ケアマネージャーなど）	14.8%
無記入	1.6%

（3）プログラムに関するご感想を教えてください。

■ 基調講演：服部 政治先生「もっと知ってほしい がんと痛みのこと」

① 大変参考になった	65.6%
② 参考になった	24.6%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	1.6%
無記入	8.2%

■ Q&A トークセッション

① 大変参考になった	59.0%
② 参考になった	24.6%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	0.0%
無記入	16.4%

（4）治療に関する情報はどのような媒体で入手しましたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような媒体で入手すると思いますか？（複数回答可）

① 医療者（医師・看護師・薬剤師など）	39	63.9%
② 書籍	32	52.5%
③ インターネット	47	77.0%
④ 同じ病気の患者	10	16.4%
⑤ がん患者会	13	21.3%
⑥ 患者団体・患者支援団体	7	11.5%
⑦ 病院の相談窓口	9	14.8%
⑧ NPO などの相談窓口	5	8.2%
⑨ その他（テレビ・学会・診療ガイドラインなど）	4	6.6%
無記入	2	3.3%

（5）インターネットで情報を収集する際、どんなことに気をつけていますか？

(複数回答可)

① 誰が書いているか、明示されている	41	67.2%
② 情報の出典が明記されている	42	68.9%
③ 情報の更新日が明記されている	26	42.6%
④ 情報発信の目的(営利・非営利)が明確にされている	24	39.3%
⑤ その他	3	4.9%
無記入	3	4.9%

*その他詳細：

- ・治療法が確立されているか。思い込みで書かれてないか。
- ・他で批評があること。
- ・真偽の程。

(6) 治療を受けるにあたって、どのような情報が必要でしたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような情報が必要だと思いますか？(複数回答可)

① 施設情報(病院など)	40	65.6%
② 医師情報(専門医など)	36	59.0%
③ 治療法の情報	47	77.0%
④ 薬剤に関する情報	35	57.4%
⑤ 治療以外(心の問題など)の相談窓口	15	24.6%
⑥ 医療費に関する情報	23	37.7%
⑦ 同じ病気の体験談	15	24.6%
⑧ その他(予後に予想される経過・総合がん情報センター)	2	3.3%
無記入	3	4.9%

(7) もっとも、キャンサーネットジャパンに期待する活動は何ですか？

① がん患者(家族)向けセミナー・イベントなど	54.1%
② がん患者(家族)向け教育プログラムなど	29.5%
③ がん患者(家族)を含めた一般の人へのがん疾患啓発事業	42.6%
④ 体験者同士のピアサポートプログラムなど	13.1%
⑤ がん医療政策提言などのロビー活動	16.4%
無記入	3.3%

～今回のセミナーで新たに得られた情報はありますか？～

【患者】

(治療後フォロー5年以内)

- ・カテーテルを入れること。
- ・痛み止めは病体の治療にも使う。

- 医療用麻薬の安全性。緩和ケアのイメージ。痛みの情報はしっかりお医者様に伝えることが大事。
- 緩和ケアというものの手違いの指摘。痛みを我慢しないこと。

(治療後5年以上経過)

- 痛み止めとしての麻薬(モルヒネ)の正しい知識。緩和ケアについて、今まで知りませんでした。その必要性や意義を理解できました。

(無記入)

- 緩和ケアの定義。オピオイドについて。PCAポンプについて。

【患者の家族】

- 痛みは我慢しないことは重要だ。
- モルヒネの意識が変わりました。「緩和ケア」について少しわかりました。
- 私も緩和ケアの見方が変わりました。

【医療従事者】

(看護師)

- セミナーに来られるある程度知識がある方々の中にも麻薬や緩和ケアという言葉に抵抗がある方が多いことを改めて感じました。医療者側の「最後は緩和ケア」というのは誤解を招く発言なので充分注意すべきだと思いますし、誤解を解くよう常々心がけていかなければいけないと思いました。

(薬剤師)

- 緩和ケアの定義を知らずに誤解していました。正しい知識が得られて良かったです。
- がんの治療、疼痛ケアについて、まだまだDrや患者様の間で十分な意思疎通が出来ていないということ。

【製薬・医療機器・メディア関係】

- 緩和ケアの定義。
- 疼痛ケアの具体的な手法。現状を知ることができました。
- 痛みをとることによってQOLをあげることの重要性がよくわかった。
- 緩和ケアの重要性を改めて学びました。この重要性を外部からも患者様に伝える活動をしたいと思います。
- 緩和ケアなどのことの他に、日本にもすばらしい志をもった医師や医療関係者の方々がいらっしゃるということ。
- 多々あり、大変勉強になりました。
- 痛みを我慢することは間違っていた。不眠、食欲がなくなる抑うつ状態で身体が弱り、免疫も低下する。麻薬の誤解。なぜ痛みがあるのか？治療によるものか。モルヒネ。恐

れる。オピオイドの理解。痛みをとるために使う。緩和ケアの説明も理解できた。

- 非常に勉強になりました。緩和ケアのイメージがわかりました。ありがとうございました。
- 緩和ケアについての考え方がわかりました。

【その他】

- 緩和ケアの定義を知ることができたのは有意義でした。
- 痛みを我慢しない。麻薬に対する誤解を解く。緩和ケアに対する誤解を解く。
- がんを受け入れ、がんとともに生きるという考えに立った現代の治療法の一掃を知ることができた。
- 痛みは我慢をしないことを勉強になった。

【無記入】

- 講義すべて良かった。映写、先生の苦心作大変すばらしかった。ありがとうございました。

～もっと知りたい情報～

【患者】

(治療後フォロー5年以内)

- 術後とかの生活、社会でのその後の適応について等。
- 緩和ケアのこともっと詳しく。健康保険で受けられる内容と、保健適用外では違うのかなど。

(治療後5年以上経過)

- 神経ブロック型の痛み止め治療の副作用。

【患者の家族】

- 治療と緩和ケアを早期に行うことによる効果。
- 緩和ケア。治療方法。患者家族の心のケア。
- スピリチュアルケアに対する取り組み。がんの検診、診断に関する情報。(現状及び先進技術) がん患者と家族との間の問題。ソーシャルワーカーなどが提供する社会的支援。

【医療関係者】

(看護師)

- 標準治療とは、患者がわかるためにはどうすればよいか。正しい治療法の選択の方法。

(薬剤師)

- 小児がんに対する治療について。

【製薬・医療機器・メディア関係】

- がん在宅医療について→緩和ケア。支持療法について。
- 治療の具体例とその時の状況など。

【その他】

- 医療用麻薬の種類、効用を詳しく知りたいです。
- 精神腫瘍科について。
- 人はなぜ痛みを感じるのか。痛みにはどういう意味（生理学的）（スピリチャル的）があるのか。

～ご意見・ご感想～

【患者】

（治療後フォロー5年以内）

- 一般の人にもとてもわかりやすい内容だったと思います。もっと緩和ケアの踏み込んだ内容も聞きたかったです。
- とても勉強になるセミナーでした。ありがとうございました。
- すばらしい内容を無料で聞かせて頂き、大感謝です。

（治療後5年以上経過）

- 大変勉強になりました。

（無記入）

- 主治医に聞けないことが詳しく聞いて勉強できました。痛みは命をそぎ落とす。だからやっぱり痛みをなくして生きたい。

【患者の家族】

- ありがとうございました。
- 病気になった時の不安が軽減されました。ありがとうございました。
- わかりやすかったです。緩和ケアは治療、手術ができない、しないという人が受けるものだと思っていました。痛みをとることの大事さを知りました。注射の痛みを我慢するのは恥ずかしいからと思います。

【医療従事者】

（薬剤師）

- またお話を伺いたいです。ありがとうございました。

（無記入）

- 患者さん、患者さんの家族にとってこのような機会があるのは、とてもためになることであると思いました。医療者がこういったセミナーの存在を知り、情報提供できればと思いました。

【製薬・医療機器・メディア関係】

- 質問を記載する時間がもう少し長いとありがたいです。
- Twitter のハッシュタグを常時または定期的に表示してほしい。→初めにメモし損ねると質問できない。
- 目からうろこでした。誤解していることが色々あったのですが、先生のお話で正しい知識を得ることができました。(がんサバイバーの人が 20 人に 1 人ということにも驚きました。)
- この素晴らしいセミナーを今後も続けて下さい。応援しております。

【その他】

- 開催大変だと思いますが、頑張ってください。
- 有難うございました。
- スライドの資料を配って欲しい。
- 寄付金は税控除対象の団体になったのでしょうか。